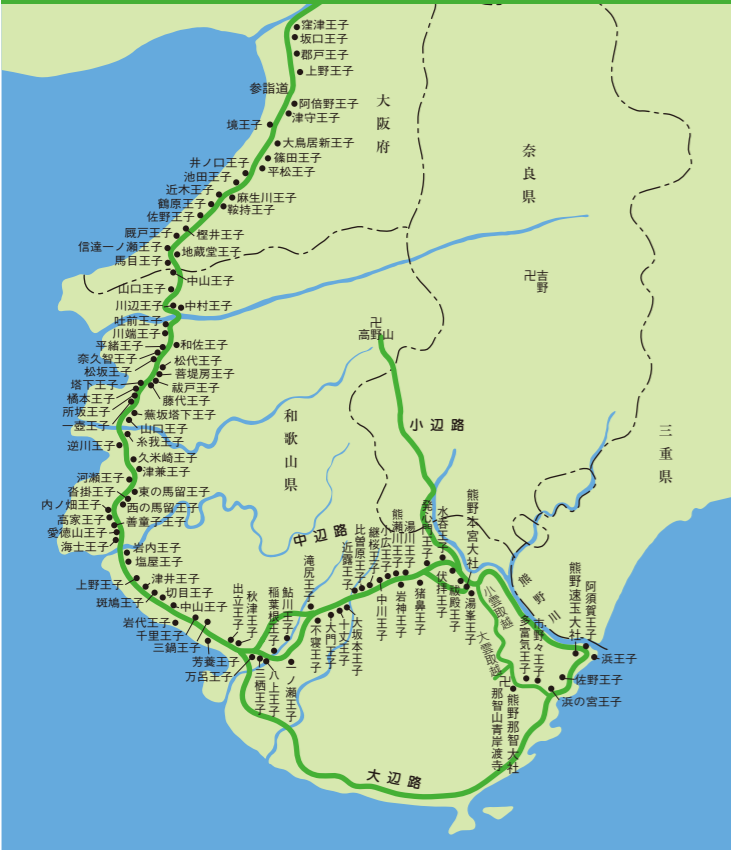


# 九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遙拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切部（切目）王子社、上富田町の稲葉根王子社、田辺市中辺路町の滝尻王子社、田辺市本宮町の発心門王子社は、五躰王子社として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していきましたが、足利将軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

- 旅のお問い合わせは**
- 新宮市観光協会 TEL.0735-22-2840
  - 新宮市商工観光課 TEL.0735-23-3333
  - 那智勝浦町観光案内所 TEL.0735-52-5311
  - 那智勝浦町観光企画課 TEL.0735-52-2131
  - 熊野本宮観光協会 TEL.0735-42-0735
  - 田辺市観光振興課 TEL.0739-26-9929
  - (一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー TEL.0739-26-9025
  - (公社)和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
  - 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

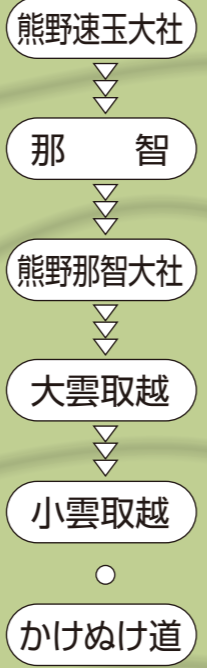
紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

## 和歌山県街道マップ

# 熊野古道

### 熊野速玉大社～熊野那智大社

### 大雲取越・小雲取越・かけぬけ道



古くは熊野本宮から新宮(熊野速玉大社)へは、熊野川を舟で下りました。神倉山の磐座であるゴトビキ岩に降臨した熊野権現が、後に熊野速玉大社に移られたため新宮と呼ばれます。毎年2月6日のお燈まつりが有名です。新宮からは浜王子で王子ヶ浜の海岸に出て、高野坂の絶景をめながら浜の宮王子・補陀洛渡海で有名な補陀洛山寺へと向かいます。熊野古道はここから那智川に沿って那智山へと進み、途中大杉群の中にある大門坂を登りつめると熊野那智大社、那智山青岸渡寺への参道です。那智の滝も一望の下にあります。

那智山青岸渡寺の裏手の長大な石段が大雲取越への古道です。途中から妙法山へ向かうかけぬけ道と分かれず。那智山から再び本宮へと戻るこのコースは酷しい山坂の連続であり、亡者の靈魂が通ったという「死出の山路」から「亡者の出会い」への道は、うっそうとして、幽妖な雰囲気漂っています。南方熊楠が「ダル」とりつかれたというのまなずけます。大雲取は文字通り、雲をつかむような熊野古道随一の難所、舟見峠で熊野灘の眺望を楽しむ余裕もなく、越前峠に達します。小雲取越には「賽の河原」もあり、熊野が「隠国(こもりく)」、つまり靈魂の籠もる地であることを実感します。しかし生きながら難行苦行してこの「黄泉の国」で生まれ変わって「甦り」(黄泉の国からかえる事)、感謝の日々を過ごせること請け合ひの請川で大雲取越・小雲取越の旅は終わりを迎えます。



#### ルートその1【P4へ】

### 熊野速玉大社～那智駅

やっとの思いで熊野本宮大社にたどり着いた熊野詣の旅人は、本宮からは熊野川を舟で下り熊野速玉大社へと向かいます。ここで再び陸路をとり、熊野三山最終の熊野那智大社へと向かったルートがこのコースです。

新宮市内は中世の海沿いのルートと、近世のルートに分かれますが、古道の名所として知られた高野坂の手前で合流し、高野坂からの熊野灘の絶景を眺めて新宮市三輪崎へ向かいます。ここから古道は、海沿いに佐野・宇久井を経て、補陀洛浄土への玄関口とされた那智の浜へと向かいますが、この区間の古道は推定が難しく、国道を歩く区間も少なくありません。車等には充分注意して歩いてください。



熊野速玉大社



高野坂

#### ルートその2【P8へ】

### 那智駅～熊野那智大社

ブルービーチ那智から程なくの所にある、浜の宮王子・補陀洛山寺を起点として、那智川に沿って熊野那智大社・那智山青岸渡寺へと向かいます。途中、井関地区では山林の中を行く自然道となり、市野々王子を経て古道はいよいよ熊野那智大社への参道である大門坂へ。樹齢八百年といわれる夫婦杉が長い道程の苦勞をねぎらってくれます。見事な杉が立ち並ぶ大門坂の途中には、熊野九十九王子最後の王子社である「多富気王子」があり、ここを過ぎれば程なくで、最終目的地である「熊野那智大社」「那智山青岸渡寺」に到着。これまでの疲れも、熊野詣を果たした心地よい達成感によって拭き去られることでしょう。



大門坂



熊野那智大社

#### ルートその3【P10へ】

### 大雲取越 熊野那智大社～小口

熊野詣を終えた旅人は、背後に聳える那智・妙法の山を登り、雲の中を行くがごとき、大雲取・小雲取を越えて本宮へと戻ります。那智山青岸渡寺の裏手から、那智高原を越え、その名の通り、熊野灘を一望できる「舟見峠」へと登った後、死者が赴くといわれる標高約800～1000mの熊野の山塊を進み、人跡稀な石倉峠、越前峠、胴切坂等の険しいルートの途中には旅籠跡・茶屋跡が点在し、今も旅人の心を和ませてくれます。熊野三山の神々が集まって談笑した場所といわれる「円座石」を過ぎれば、程なくでゴールの小口に到着。清流「赤木川」沿いに開けたこの集落は、大雲取と小雲取の中継点として賑わった所です。



円座石

#### ルートその4【P12へ】

### 小雲取越 小口～請川

大雲取を下った小口から程なくの「小和瀬」の集落が小雲取越ルートの起点となります。厳しい登りが続く桜峠を越えると、自然林の中を行く比較的平坦な尾根道となり、ゴールの本宮町請川まで快適なハイキングをお楽しみいただけることでしょう。コース中程にある「百間ぐら」は、山深い紀伊半島の果ての無い峰々を眺望できる名所。ゆっくりと休憩して眺めを堪能したいスポットです。「百

間ぐら」から徐々に下って熊野川が前方に開けると、程なくでゴールの請川に到着です。



百間ぐら



熊野川(田辺市本宮町請川)

#### ルートその5【P14へ】

### かけぬけ道

かけぬけ道は、熊野那智大社から熊野本宮大社へと向かう大雲取越から分岐して、妙法山阿弥陀寺へ向かうルートです。那智山青岸渡寺の裏手の登り口から大雲取越を10分ほど歩くと、「左妙法山 大雲かけぬけ道」と書かれた道標があり、ここから妙法山まで石畳と石碑がよく残る、かけぬけ道が続きます。苔むした急な石段を登り女人高野とも呼ばれた阿弥陀寺へ。静かな境内は凜とした雰囲気包まれています。妙法山の頂上付近に行くと、海を見渡すことができ、清々しい気持ちになります。

#### 和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(https://www.wakayama-kanko.or.jp/)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について
  - 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
  - 問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



#### 古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。



# 熊野古道マップ

中辺路 (新宮～田辺市本宮町請川)



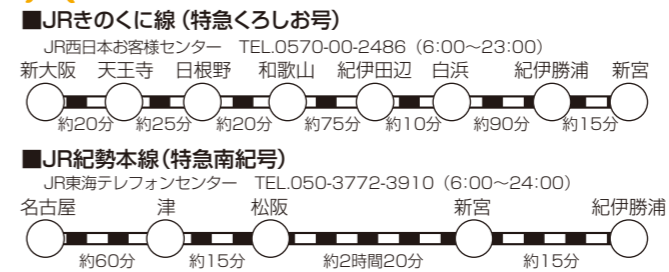
登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶

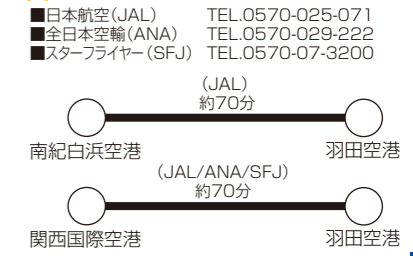
# 熊野古道 [中辺路] アクセスガイド



## 電車



## 空路





# くまのはやたまたいしゃ [熊野速玉大社(新宮市)~那智駅(那智勝浦町)その1]

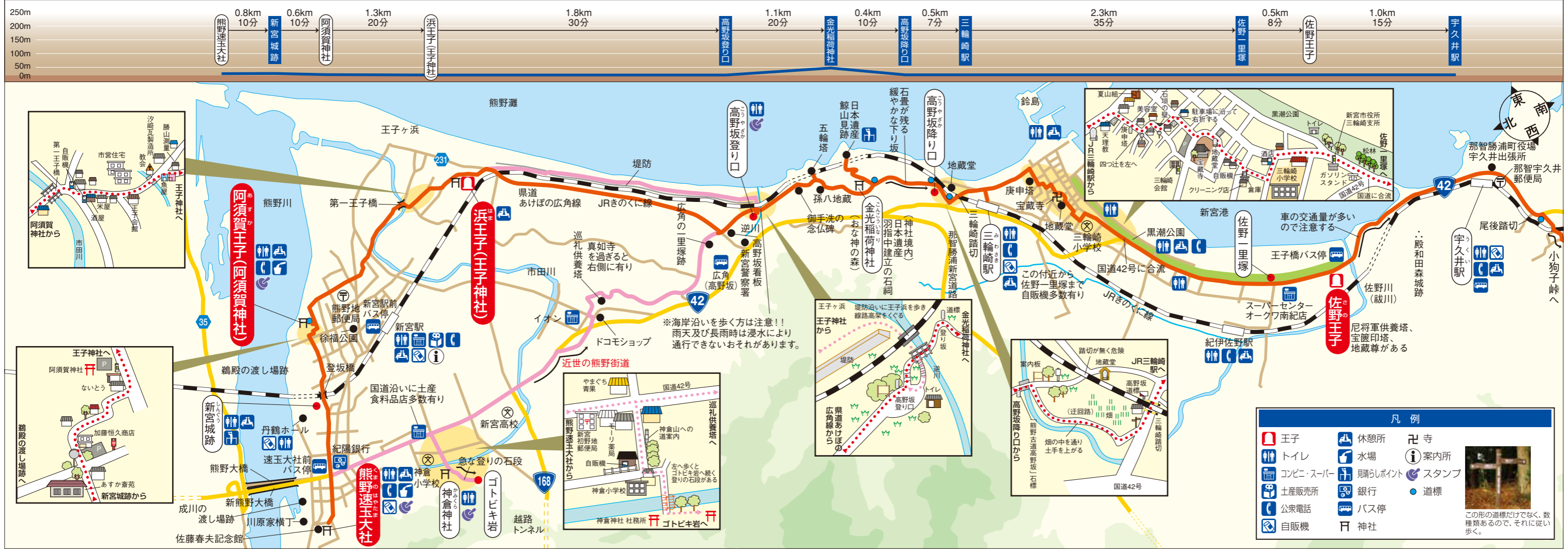
※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 14.8km  
標準歩行時間 4時間03分  
標準所要時間 6時間25分

熊野速玉大社と  
古道の雰囲気

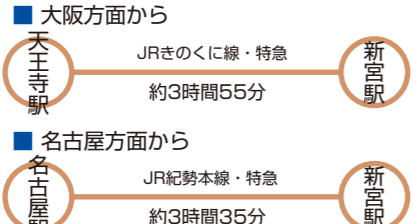
熊野那智大社を結ぶメインルート。新宮の高野坂では、  
色濃く残り熊野灘の眺めも堪能していただけます。

熊野本宮大社から熊野川を舟で下り、熊野速玉大社に参拝した後、古道は海沿いの道を熊野那智大社へと向かいます。阿須賀神社、王子神社等の見所を經由し、古道はいよいよこのコースのハイライト、高野坂へと向かいます。高野坂では、苔生した石畳や熊野灘の雄大な眺めをゆっくりお楽しみ下さい。三輪崎の町を過ぎると国道42号線を歩く箇所もありますので車には充分注意してお楽しみ下さい。



## スタート地点までのアクセス

玄関口となる「新宮駅」へは、大阪方面から直通の特急列車を利用するのが便利です。また名古屋方面からも「新宮駅」まで直通の特急列車がございます。名古屋方面からは本数が少ない為、運転時刻等を確認して下さい。熊野速玉大社へは「新宮駅」から徒歩20分弱です。



## このコースの歩き方

●ハイキング前に新宮市内で宿泊し、翌日歩いていただくのが一般的です。新宮市は寺町通りと呼ばれる寺社町や、神倉神社をはじめとする歴史の見所ばかりではなく、紀南地区の政治・経済・文化の中心地です。ハイキング前日は、文学散歩や食べ歩き等でお楽しみいただくのが良いでしょう。

## 標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。新宮市内で宿泊し、翌日歩きました。)

熊野速玉大社	8:00	新宮城跡	8:10	阿須賀神社	8:30	浜王子(王子神社)	8:40	金光稻荷神社	8:50	三輪崎駅	9:10	佐野一里塚	9:20	佐野王子	10:10	宇久井駅	10:35	小獅子峠	13:05	大獅子峠	13:20
(展望台に立ち寄り熊野灘の眺めを満喫) (駅待合室で昼食休憩:お弁当)																					
.....	10:50	.....	10:55	.....	11:30	.....	11:35	.....	11:43	.....	11:50	.....	12:05	.....	12:40	.....	13:05	.....	13:20	.....	
(由緒ある王子社と補陀洛渡海ゆかりの名刹をゆっくり見学)																					

街道マップ  
熊野速玉大社~那智駅 その1  
熊野速玉大社~那智駅 その2 (P6)

# くまのはやたまたいしゃ [熊野速玉大社(新宮市)~那智駅(那智勝浦町)その2]

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 14.8km  
標準歩行時間 4時間03分  
標準所要時間 6時間15分

熊野速玉大社と  
古道の雰囲気

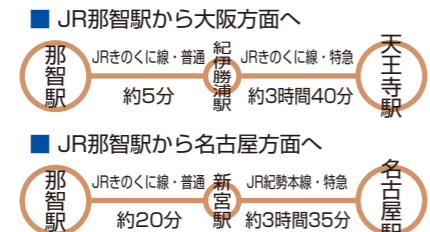
熊野那智大社を結ぶメインルート。新宮の高野坂では、  
色濃く残り展望台から熊野灘の眺めも堪能いただけます。

佐野王子を越え、那智勝浦町に入り小狗子峠、大狗子峠と、2つの小さな峠を越え、熊野那智大社への玄関口とも言うべき浜の宮王子をめざします。那智浜に近いことから渚の宮と呼ばれ、潮垢離の聖地として知られた浜の宮大神社、補陀洛渡海上人や平維盛入水の悲話が残る補陀洛山寺は、是非ゆっくりと見学してください。この区間も国道42号線を歩く箇所が多い為、車には充分ご注意ください。



### お帰りは

大阪方面へのお帰りは「那智駅」でゴールし、JRきのくに線の普通列車または路線バスを利用して「紀伊勝浦駅」へ。「紀伊勝浦駅」から、JRきのくに線の特急列車に乗り換え大阪方面に戻ります。  
名古屋方面へは「那智駅」からJRきのくに線の普通列車または路線バスを利用して「新宮駅」へ。「新宮駅」から紀勢本線特急列車で名古屋方面へ戻ります。



### ご宿泊の方は

お問い合わせ  
新宮市観光協会 0735-22-2840  
那智勝浦町観光案内所 0735-52-5311  
南紀勝浦温泉旅館組合 0735-52-0048

「那智駅」でゴールし、JRきのくに線又は熊野御坊南海バスを利用し、南紀勝浦温泉、湯川温泉等でお泊まりいただくのが一般的です。また、コース途中の宇久井地区に休暇村があります。

### 標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。新宮市内で宿泊し、翌日歩きました。)

熊野速玉大社	8:00	新宮城跡	8:10	阿須賀神社	8:20	浜王子(王子神社)	8:30	金光稲荷神社	8:40	9:00	9:10	10:00	10:25
三輪崎駅	10:40	佐野一里塚	10:45	佐野王子	11:20	宇久井駅	11:25	小狗子峠	11:33	11:40	11:55	12:30	12:55
大狗子峠	13:45	浜の宮王子	13:55	補陀洛山寺	13:56	那智駅	14:10	14:13					

(展望台に立ち寄り熊野灘の眺めを満喫)  
(駅待合室で昼食休憩:お弁当)  
(由緒ある王子社と補陀洛渡海ゆかりの名刹をゆっくり見学)

街道マップ  
熊野速玉大社~那智駅 その2  
那智駅~熊野那智大社(P8)



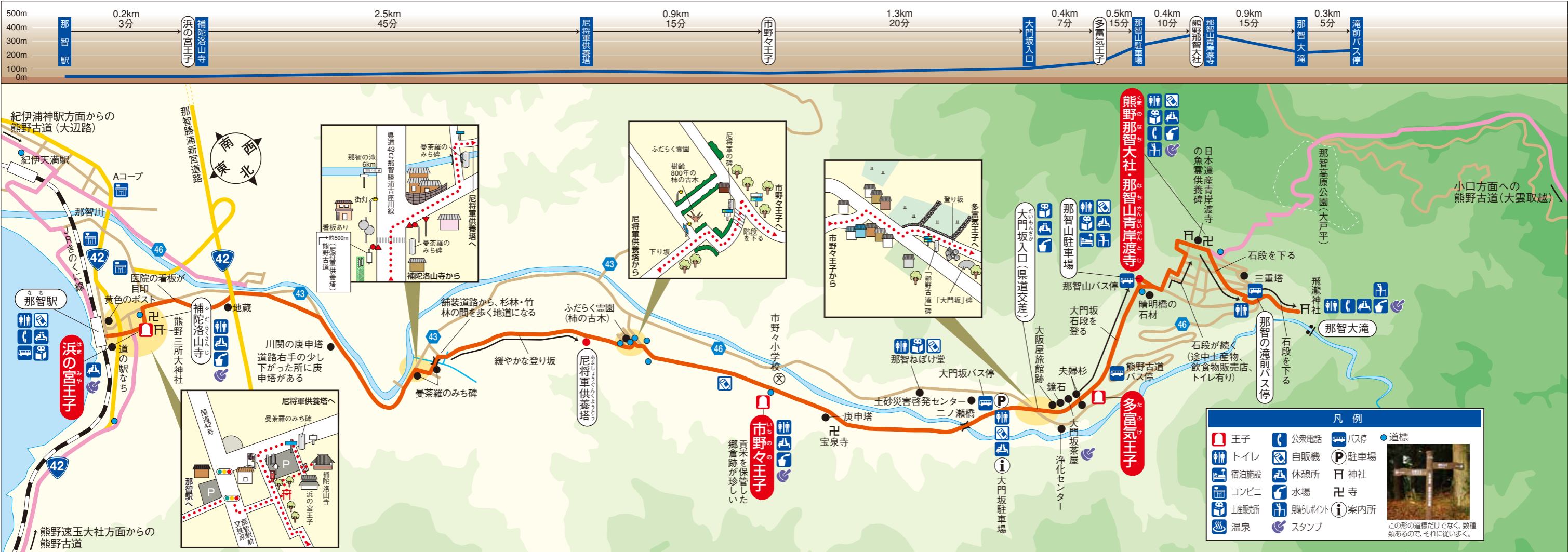
# 【那智駅～熊野那智大社(那智勝浦町)】

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 7.4km  
標準歩行時間 2時間15分  
標準所要時間 4時間15分

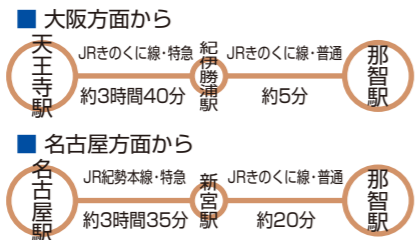
JR那智駅から、那智川沿いに遡り、熊野古道の面影を最も留める大門坂から熊野三山詣で最終目的地、熊野那智大社へ向かう仕上げのコースです。

浜の宮王子、補陀洛山寺を起点に那智川沿いに熊野那智大社をめざします。杉林、竹林に囲まれた気持ちの良い道を進み、尼将軍供養塔から市野々王子へ。そこを過ぎれば程なく熊野那智大社への参道、大門坂、樹齢800年とも言われる夫婦杉をはじめとする見事な杉木立や、苔生した石畳が歴史を感じさせてくれます。熊野三山の一つ熊野那智大社参拝で、熊野詣での旅は、目的達成となりますが、西国三十三観音霊場一番札所那智山青岸渡寺、那智大滝も是非立ち寄りたスポットです。



## スタート地点までのアクセス

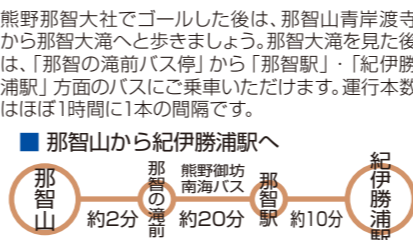
大阪方面からは、JRきのくに線の特急列車を利用して「紀伊勝浦駅」へ。ここで普通列車に乗り換えます。また名古屋方面からは、JR紀勢本線特急列車を利用して「新宮駅」へ。ここで普通列車に乗り換えます。南紀勝浦温泉からは「紀伊勝浦駅」からJRきのくに線の普通列車を利用するか、熊野御坊南海バスの便もあります。



## このコースの歩き方

お問い合わせ 那智勝浦町観光案内所 0735-52-5311  
このコースは比較的距離、所要時間が短いため、半日あれば充分踏破可能です。1泊2日の行程であれば、1日目の午後又は2日目の午前を使って歩くのが一般的で、その際の宿泊は南紀勝浦温泉、または湯川温泉が便利です。また、1泊2日で新宮市、熊野速玉大社から熊野那智大社まで歩く行程を組むことも可能です。

## お帰りは



## 標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

那智駅	12:00	浜の宮王子	12:03	補陀洛山寺	12:10	尼将軍供養塔	12:25	市野々王子	13:15	13:30	13:40
(補陀洛渡海ゆかりの名刹を見学)											
大門坂入口	14:00	多富気王子	14:25	那智山駐車場	14:30	熊野那智大社	14:45	那智山青岸渡寺	15:20	15:20	15:40
(途中大門坂茶屋・夫婦杉で休憩) (熊野三山参りの満願達成) (西国観音霊場第一番の名刹を見学)											
那智大滝	15:55	那智の滝前バス停	16:10	熊野御坊南海バス	16:15	紀伊勝浦駅					
(日本一の名瀑を間近で眺める)											

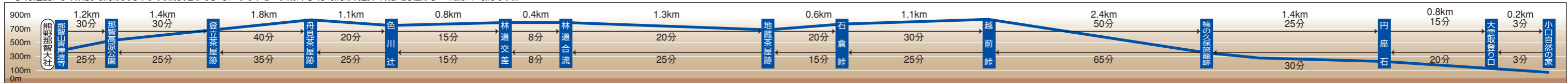
# 大雲取越 熊野那智大社(那智勝浦町)～小口(新宮市熊野川町)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 14.5km  
標準歩行時間 5時間10分  
標準所要時間 7時間00分

熊野那智大社・那智山青岸渡寺に参拝の後、妙法、大雲取の山麓に分け入る中を行くがごとき厳しい坂道を越え小口の里へ。

西国三十三観音霊場一番礼所那智山青岸渡寺裏側の登り口を入るといきなり厳しい石階段が続きます。那智高原、登立茶屋跡を過ぎ、一気にこのコース随一の眺めを誇る舟見峠へと登り始めます。ここではその名の通り雄大な熊野灘を存分に眺めたいものです。舟見峠からは小刻みなアップダウンを繰り返して越前峠へ。越前峠からは「胴切坂」と呼ばれる急坂を降りて、小口の里へ下ります。厳しい道が続く本格コースですが途中の峠からの眺めや苔生した石仏、石畳等から神秘的な「熊野」を強く感じ取っていただけることでしょう。



### スタート地点までのアクセス

「紀伊勝浦駅」、または「那智駅」から熊野御坊南海バスで「那智山」バス停下車。下車後、熊野那智大社・那智山青岸渡寺まで徒歩約10分程です。

■ JR紀伊勝浦駅から

- 紀伊勝浦駅 → 那智駅 (JRきのくに線) 約5分
- 那智駅 → 熊野御坊南海バス 約20分

### このコースの歩き方

お問い合わせ  
新宮市観光協会 0735-22-2840  
那智勝浦町観光案内所 0735-52-5311

- 熊野那智大社から小口に向かって歩く  
前日に南紀勝浦温泉に宿泊し、小口に向かって歩きます。また、那智山周辺の民宿に宿泊する方法もあります。小口に到着後はバスで新宮市に戻る方法と、小口に宿泊し、翌日、小雲取を越えて本宮町請川から熊野本宮大社へと歩く方法があります。
- 小口から熊野那智大社に向かって歩く  
前日、小口に宿泊し、熊野那智大社に向かって歩きます。大阪方面に戻られる方は16:00頃までを、名古屋方面に戻られる方は、15:00頃までを目途に熊野那智大社に到着しておく必要があります。

### お帰りは

小口で宿泊し、翌日小雲取を請川まで歩く方法と、小口から熊野御坊南海バスでJR新宮駅へ出る方法があります。小口～新宮駅間は、小口から「神丸」バス停で乗り換え、新宮駅方面に戻ります。

■ 小口から新宮駅へ

- 小口 → 熊野御坊南海バス → 神丸 → 熊野御坊南海バス → 新宮駅 約35分
- 小口 → 熊野御坊南海バス → 新宮駅 約15分

### 標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

熊野那智大社・那智山青岸渡寺	9:00	9:30	9:35	10:05	10:10	10:50	11:05
那智高原							
登立茶屋跡							
舟見茶屋跡							
色川辻	11:25	11:30	12:15	13:00	13:20	13:25	13:55
地蔵茶屋跡							
石倉峠							
越前峠							
楠の久保旅籠跡	14:55	15:05	15:30	15:40	16:00		
円座石							
小口							
ハイキング終了後							
小口で宿泊							
翌日は小雲取に挑戦							



# こぐもとり [小雲取越]

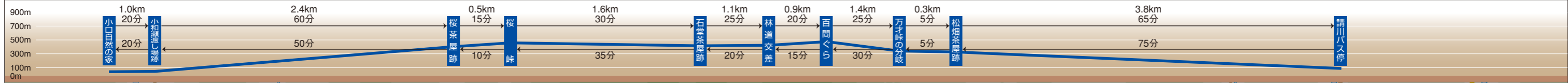
こぐち 小口(新宮市熊野川町) ~ うけがわ 請川(田辺市本宮町)

歩行距離 13.0km  
標準歩行時間 4時間25分  
標準所要時間 5時間35分

小口から、桜峠を越えて本宮町請川へ。大雲取に比べれば、比較的アップダウンも少なく、木立の中快適なハイキングをお楽しみいただけます。

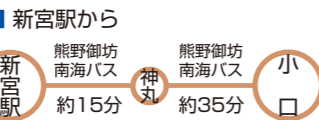
小口から、県道をしばらく歩き、小和瀬へ。ここ小和瀬が小雲取越の起点になります。小和瀬から古道に入ると途中の桜茶屋跡までは、急な登り坂が続きます。桜峠を越えればこの小雲取越コースは比較的快適な尾根道が続きます。途中で現れる茶屋跡で歴史に思いを馳せ、百間ぐら等の眺望の名所で奥深い熊野の風景を愛でながら歩き、雄大な熊野川の流れを望めばゴールの請川はもうすぐです。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



## スタート地点までのアクセス

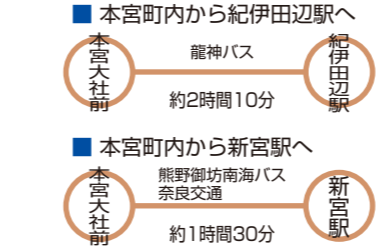
大雲取を歩いて小口でお泊まりいただくのが一般的ですが、「新宮駅」から本宮大社方面行きのバスに乗車し、「神丸」バス停で下車。「神丸」バス停で「小口」行きの区間運転バスに乗り換えることもできます。(運行状況は曜日により異なります。)



## このコースの歩き方

- お問い合わせ 熊野本宮観光協会 0735-42-0735
- 小口から請川に向かって歩く  
前日、小口に宿泊し、請川に向かって歩きます。請川到着後は、請川から熊野本宮大社まで歩くか路線バスを使う方法があります。または、路線バスで請川から川湯温泉、湯の峰温泉、渡瀬温泉へ行き宿泊する方法もあります。
  - 請川から小口に向かって歩く  
前日、本宮周辺(川湯温泉、湯の峰温泉、渡瀬温泉)に宿泊し、路線バスで請川バス停まで行き、小口に向かって歩き始めます。小口に到着後は夕方のバスで新宮市に移動する方法と、小口に宿泊し、翌日、大雲取越を歩いて熊野那智大社へ向かう方法もあります。

## お帰りは



## 標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。小口で宿泊し早朝スタートちなみに前日は大雲取越を歩きました。)

小口	8:00	小和瀬	8:20	桜茶屋跡	8:25	桜峠	9:25	9:35	9:50
(急坂を登り終えて長めに休憩)									
石堂茶屋跡	10:20	林道交差	10:25	百間ぐら	10:50	万才の峠分岐	11:10	11:20	11:45
(眺望の名所で休憩)									
松畑茶屋跡	11:50	請川バス停	12:30	13:35	路線バスまたは徒歩で熊野本宮大社へ。その後、本宮周辺で宿泊。				
(昼食の小休止:お弁当)									

街道マップ 小雲取越(小口~請川)

かけぬけ道(P14)

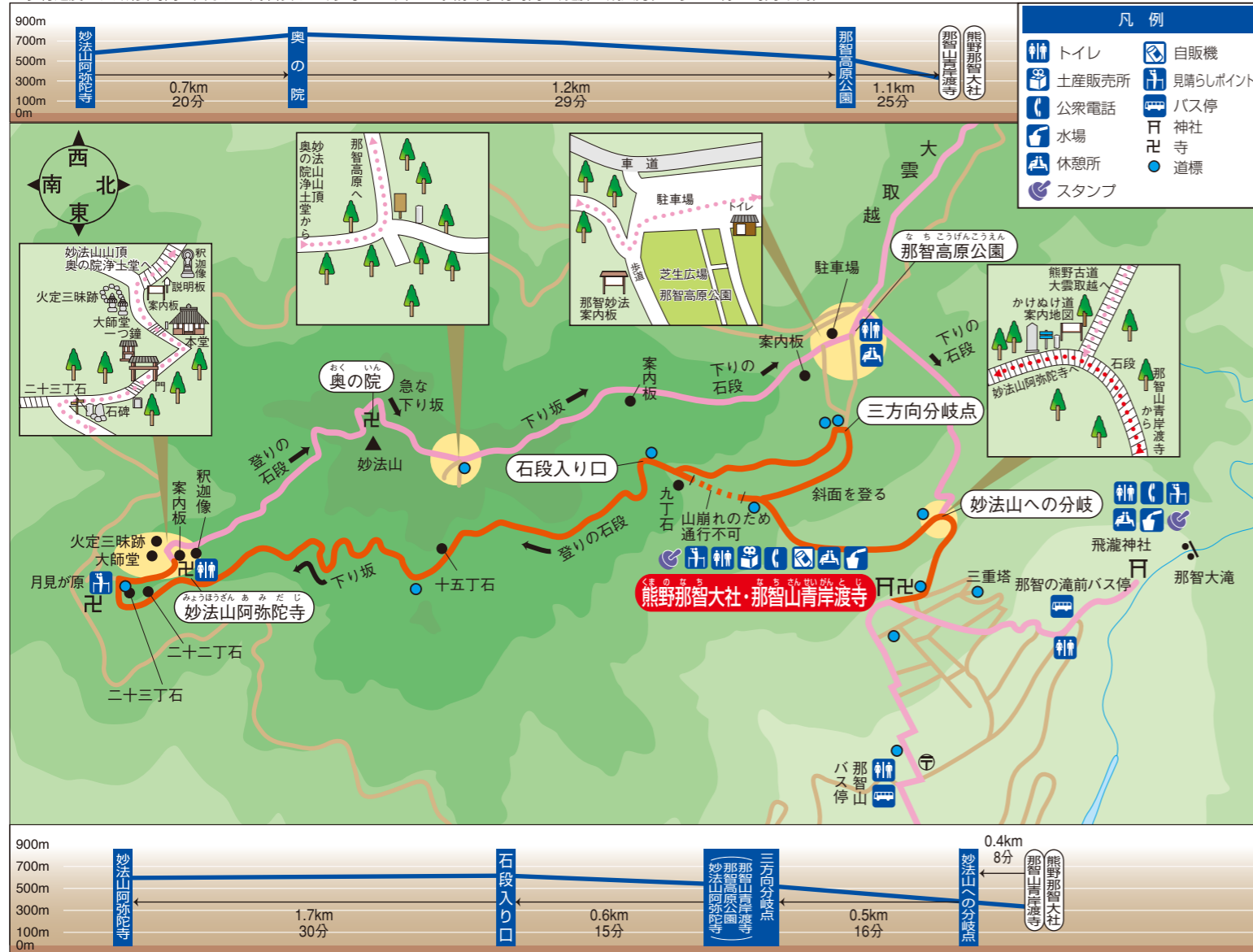


# 【かけぬけ道 (那智勝浦町)】

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 6.2km  
標準歩行時間 2時間23分  
標準所要時間 3時間40分

かけぬけ道は、那智山地区から南平野地区にわたる古道です。山頂には浄土堂があり、俗に奥の院と呼ばれており、奥の院から北に向かう敷道をたどると大雲取越に繋がります。



# 古道への交通アクセス

- 熊野古道
- 龍神バス (龍神自動車)
- 熊野御坊南海バス
- 奈良交通
- 明光バス
- 快速熊野古道号

